

海外安全対策情報

2017（平成29）年1月～3月

平成29年4月
在ハンブルク日本国総領事館

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 治安情勢

治安情勢は比較的良好ですが、これまで少なくとも以下テロ容疑者の逮捕や国外退去処分が報じられています。

- 2月9日：ニーダーザクセン州ゲッティンゲン市・2名
- 2月22日：ニーダーザクセン州ノルトハイム市・1名
- 3月4日：ハンブルク州ハンブルク市・1名

また、各地でイスラム過激主義者が増加傾向にあるとの報道が出ています。

具体的な脅威や事件はこれまで生じていませんが、引き続きテロ等不測の事態に備えて、新聞報道等を注視することが必要です。

(2) 一般犯罪

ア 一般犯罪については、依然として邦人が窃盗被害に遭う事例が見られます。

具体的には、ホテル、レストラン、空港等における「置き引き」や「スリ」のほか、「空き巣」や「車上ねらい」といった被害を認知しています。

イ また、北ドイツにおいては警察官になりすまして一般住宅を訪問し、家人の隙を見て金品を盗む窃盗の手口が横行しています。

加えて、一般に高齢者を狙った「振り込め詐欺」の発生も報告されています。

ウ 2015年大晦日深夜に発生した集団女性暴行・窃盗事件のような大規模な犯罪は発生していませんが、引き続き繁華街では女性が暴行被害に遭う事件が起きています。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪

(1) 殺人

邦人被害の事件は認知していません。

(2) 強盗

邦人被害の事件は認知していません。

(3) 強姦

邦人被害の事件は認知していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生および邦人被害は認知していません。

ハンブルクでは、昨年末にベルリンで発生したトラック突入テロやパリ、ロンドン、ストックホルムでのテロを受けて、特に大規模な行事（マラソン大会や移動遊園地など）の際のテロ対策を強化することとしています。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していません。

5 日系企業の安全に係る諸問題

関連情報ありません。